

来年度受験する3年生・大学院生 諸君!

1次試験まであと140日です!

筆記試験の準備は進んでいますか?4月になるとゼミや教育実習で時間が取れなくなりますよ。**勝負は、3月末までにどれだけ進めるかです!**論文なら、3月末までに少なくとも15回以上添削を受けてください。前回書いたとおり、専門教養も教職教養も7割取れば十分です。100点をねらわないようにしましょう。数学や理科のセンター試験や大学入試の問題で勉強するのはいいですが、難問は捨ててください。それよりも標準問題を短時間で解けるようにすることが重要です。1次試験で失敗した先輩は、ほぼ全員が「専門教養は、時間が足りなかった」と言っています。一方で合格している人がいるわけですから、時間が足りないのではなく、解くのに時間がかかり過ぎたのです。1次試験は合格するかどうか重要であって、点数や順位は全く関係ありません。つまり、ギリギリであろうと1次試験は合格したかどうか大切なのです。つまり、2次試験では全員同じスタートラインです。

いよいよ2月22日から面接練習が始まります。その前に、面接の受け方に関する講習を行います。今回は、初めての試みですが、アナウンサーによる講習です。講師の方は現職のアナウンサーですが、話し方教室などの指導もなさっています。つまり、面接指導のフロなのです。気持ちの持ち方や発声の仕方、合格を勝ち取るための面接の受け方など、多岐にわたってご指導いただきます。講義だけでなく、代表者による模擬個人面接や全員による模擬集団討論などについてもご指導いただきます。この成果を生かし、合格を勝ち取ってください。

【実施する行事】

1 「3キャンパス合同 カリスマ・アナウンサーによる面接講習」

2019年2月19日(火) 13:20~16:50 於:W1002

★ **本大学初の試みです。**フロのアナウンサーを講師に迎え、個人面接に向けた心構え、発声の仕方、答え方、合格オーラの出し方、集団討論での発言の仕方や態度など、合格するために必要な要素について理論と実践の両面から指導していただきます。

★ 参加予定者25名

2 「個人面接練習・集団討論練習・模擬授業」(個人面接Ⅰ) 2/22, 25, 26, 3/1, 4, 5, 8, 11,

12(個人面接Ⅱ) 3/15, 18, 19 (集団討論) 3/22, 25, 29 (模擬授業) 4/1, 3, 5

★ 個人面接練習は1人3回、集団討論は1人2回、模擬授業は1人1回実施します。今年は、1対1の個人面接Ⅰの他に、互いが面接官の体験を通して自らの課題を明らかにする個人面接Ⅱも行います。

★ 参加予定者25名

◎メールによる相談・指導に関する意見募集

2018年4月から2019年2月18日までのメールによる相談・指導件数は、下記のとおりです。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
件数	9	25	7	23	77	4	1	24	1	36	27	234

今年度は、上記のとおり234件でした。これらは全て相談指導員による無給ボランティアとなっています。月別に見ると7月と8月が合計100件と年間の半数近くに当たります。それは、教員採用選考2次試験直前にも関わらず大学が盆休みであることが原因です。今年は1次選考合格者が21人中17人(19自治体)合格(合格率81.0%)と多く、この期間に2次試験に向けた書類の添削依頼が殺到しました。しかし、大学が盆休みであったため、100件について自宅でのメールによる添削指導をせざるを得ませんでした。昨年も同じ状況であったので、大学が盆休み中の相談指導活動を認めない限り、この現象は今後も続くこととなります。働き方改革が強く叫ばれている昨今、この状況は速やかに改善されるべきと考えます。他の月については、主に卒業生等が大学に来られないため、メールによる論文や書類の添削、私立学校の相談等をしたことによります。卒業生の多くは非常勤講師をしているので、平日に大学に来ることはほとんど不可能です。メールによる相談・指導は必要でしょう。今後もし、メールによる相談・指導をなくした場合どういう影響があるのか、対面による指導だけで対応可能なのか、学生諸君の意見を聞かせていただきたいです。メールでも構いません。意見を聞かせてください。



《筆記試験攻略法》

(1) 友達と学び合おう！ - 一人でコツコツと勉強するだけでは不十分 -

これからの教員に求められているのは、チームワーク力です。だから、集団討論や場面指導の試験があります。したがって、勉強するときも一人でこもってするのではなく、友達や仲間と教え合いながら勉強すると合格率がグッと上がります！同じ学科でなくても構いません。相談室に来た仲間でもいいですよ。

(2) WCや風呂を活用しよう！ - 小さな時間を無駄にしない -

教職教養や一般教養など、筆記試験では暗記することが多いです。暗記するときには、WCや風呂を活用しよう！TVのコマーシャルを覚えている人は多いでしょう。でも、誰も暗記しようとは思っていません。つまり、何度も目に触れ、耳で聞いているうちに覚えてしまったのです。そこで、覚えるべき教育法規や教育心理の人物などを紙に書いて、WC内の目に付く所に貼っておこう。それほど意識しなくても自然に覚えてしまうでしょう。覚えたら次の紙を貼ります。こうして覚えると、試験当日、その単語がWCのどの辺に貼ってあったかということ思い出せます。風呂も同じです。最近水に強い紙が出ています。風呂に入るときに、目に付く場所に貼っておきましょう。ただし、くれぐれものぼせないように。

(3) 問題集は同じものを3回解こう！ - これから新しい問題集に飛び付かないこと -

専門教養などは、過去問や問題集を解くことで力が付きます。ただし、あれもこれもと何冊も手を出さないこと。やり残して自信をなくすだけです。1冊を3回解いてください。問題を解いた後には必ず問題に印を付けます。印は、「解答できた問題はA、解説を読んで分かったらB、分らなかつたらC」です。1回目は、超スピードで全ての単元を解答します。時間がかかりそうなら、奇数番号の問題だけでも構いません。粗くても全ての単元を終えることが大切です。なにも1ページから始める必要はありません。得意なページから次々と進めていってください。大切なことは、勉強した足跡を残しておくことです。計算用紙もメモ用紙も全部綴じておいてください。それらが溜まっていくと自信になります。2回目には、Aの印を付けた問題は解きません。解くのはBとCの問題だけです。2回目も、解いた後には印を付けます。BがAに、CがBになるのが目的です。3回目も同様です。Aが付いたら解かない。つまり、回数が増えるにつれて問題数が少なくなっていくのです。これで3回終われば、相当実力が上がっています。最後までCが付いた問題はどうか？「最後までCの付いた問題は、本番で出ない！」と念力をかければよいのです。そんな難問に振り回されてはいけません。おっと、もう一つ要注意。数学や理科の問題は、1つの問題に20分以上時間をかけないこと！試験当日は、スピードが求められます。20分経ったら解くのをやめて、さっさと解説を読んでしましましょう。1つの問題を1時間近くかけて解いたために問題集が終わらないという失敗が極めて多いです。私も、これで失敗しました。要注意です。数学だったら、都数研に来て先輩教員に聞いてください。大学受験の専門家があとという間に解いて、教えてくれます。

(4) 模試を生かそう！ - 模試は最も効果的な学習機会。ただし、受けっぱなしは禁物 -

模試は、本番に最も近い勉強の機会。どんどん受けよう。でも、受けっぱなしではなく、模試ノートを作ってきちんと反省しておこう。



★ 諸君の全員合格を期待しています！

【数学コーナー】今回は、外国の数字の読み方です。特徴的な部分だけを書きます。

- 【ドイツ語】・ 21 : eins und zwanzig (アインス ウント ツヴァンツィヒ) 2桁の数は、1の位を先に読む。
・ 321 : drei hundert eins und zwanzig (ドライ フンダート アインス ウント ツヴァンツィヒ)
- 【フランス語】・ 21 : vingt et un (ヴァンテアン) 20 (vingt) + (et) 1 (un) という発音。
・ 70 : soixante-dix (ソワサンティス) 60と10を続けて発音する。つまり、70という単語がない！
・ 71~79 : 「60・11」60と11を続けて発音。～「60・19」60と19を続けて発音。
・ 80 : quatre-vingts (クアトゥルヴァン) 4 (quatre)と20 (vingt)を続けて発音すると80になる！
・ 81~99 : 「4・20・1」～「4・20・19」という発音。つまり、4・20・19と続けて発音されたら、頭の中で、 $4 \times 20 + 19 = 99$ という計算をして99だと理解しないといけなわけ。もっと細かく言えば、19は dix-neuf (10・9)だから、 $4 \times 20 + 10 + 9 = 99$ ということ。現代数学が一番進んでいる国がフランスだっていう理由が何となく分かる気がするね。フランスで買い物をする時、これらの数字を聞き取らなくてはならないのデス。とっても大変。(経験者は語る)